

2013年10月1日より
作業用救命衣の型式承認基準が変わりました。
業界初！型式承認 新基準対応！

膨脹式 作業用救命衣 TK-2720 型

承認番号 第5189号

【水感知式】落水すると水を感じし膨脹します。



高強度 高視認 新基準



ハーネス構造

万が一の落下時や救助時にかかる荷重を分散し、製品の破損や着用者へのダメージを軽減する為、ハーネス構造を採用しています。
また、気室はベルトに付けられており、カバーが外れても救命胴衣として機能します。



SOLAS グレード バックル

大型船の救命胴衣にも使用されている SOLAS グレードの高強度バックルを採用しました。
3200N の荷重にも耐えることができます。



ダブルセンサー& 確認用ウィンドウ

ボンベとカートリッジの使用状況を一目で確認できます。未使用ならグリーン、使用済みなら表示がレッドに変わります。
始業前点検がすばやく行えます。



ウォッシュブル カバー

カバーは取り外して洗濯できます。洗濯の際は衣類洗濯用洗剤がご使用いただけます。(手洗い)



誤作動抑制手動索

救命衣を手動膨脹させる時に必要な作動索ですが、カバーの外に出ているため、作業時に引っかけて作動させてしまうケースがありました。TK-2720 型は面ファスナーで手動作動索を仮止めできるので、作業時に引っかかりによる誤作動を抑制でき、かつ非常時には引きやすい位置に仮止めできます。



型式承認 新基準って 何が変わったの？

- ①回転衝撃試験の新設
- ②不注意膨脹試験の新設
- ③高温（65℃以上）、低温（0℃以下）での膨脹試験を実施。
- ④水平強度試験が 880N/30 分から 2000N/30 分に変更
- ⑤垂直強度試験が 880N/30 分から 750N/ 30 分に変更
- ⑥使用材料は全て材料試験が必要